



拡張テスト コマンド

拡張テスト コマンド機能を使用すると、Calling Line ID (CLID; 発呼回線 ID) または Dialed Number Identification Service (DNIS; 着信番号識別サービス) アトリビュート値を持つ名前付きユーザ プロファイルを作成できます。RADIUS サーバがすべての着信コールの CLID または DNIS アトリビュート情報にアクセスできるように、CLID または DNIS アトリビュート値を、ユーザ プロファイルとともに送信される RADIUS レコードに関連付けることができます。

機能情報の確認

ご使用のソフトウェア リリースでは、このモジュールで説明されるすべての機能がサポートされているとは限りません。最新の機能情報と注意事項については、ご使用のプラットフォームとソフトウェア リリースに対応したリリース ノートを参照してください。この章に記載されている機能の詳細、および各機能がサポートされているリリースのリストについては、「[拡張テスト コマンドの機能情報](#)」(P.6) を参照してください。

プラットフォーム サポートと Cisco IOS および Catalyst OS ソフトウェア イメージ サポートに関する情報を入手するには、Cisco Feature Navigator を使用します。Cisco Feature Navigator には、<http://tools.cisco.com/ITDIT/CFN/jsp/index.jsp> からアクセスできます。Cisco.com のアカウントは必要ありません。

この章の構成

- 「[拡張テスト コマンドの制約事項](#)」(P.2)
- 「[拡張テスト コマンドの設定方法](#)」(P.2)
- 「[拡張テスト コマンドの設定例](#)」(P.3)
- 「[その他の参考資料](#)」(P.4)
- 「[拡張テスト コマンドの機能情報](#)」(P.6)
- 「[用語集](#)」(P.7)

拡張テスト コマンドの制約事項

`test aaa group` コマンドは、TACACS+ では機能しません。

拡張テスト コマンドの設定方法

以降のセクションでは、拡張テスト コマンド機能を設定する方法について説明します。

- 「[ユーザ プロファイルの設定と RADIUS レコードへの関連付け](#)」(P.2)
- 「[拡張テスト コマンドの設定の確認](#)」(P.3)

ユーザ プロファイルの設定と RADIUS レコードへの関連付け

ここでは、CLID または DNIS アトリビュート値を持つ名前付きユーザ プロファイルを作成し、RADIUS レコードに関連付ける方法について説明します。

手順の概要

1. `enable`
2. `configure terminal`
3. `aaa user profile profile-name`
4. `aaa attribute {dnis | clid} attribute-value`
5. `exit`
6. `test aaa group {group-name | radius} username password new-code [profile profile-name]`

手順の詳細

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|---|--|
| ステップ 1 | <code>enable</code> 例: Router> enable | 特権 EXEC モードをイネーブルにします。 • プロンプトが表示されたら、パスワードを入力します。 |
| ステップ 2 | <code>configure terminal</code> 例: Router# configure terminal | グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。 |
| ステップ 3 | <code>aaa user profile profile-name</code> 例: Router(config)# aaa user profile profilename1 | ユーザ プロファイルを作成します。 |
| ステップ 4 | <code>aaa attribute {dnis clid}</code> 例: Router# configure terminal | DNIS または CLID アトリビュート値をユーザ プロファイルに追加し、AAA ユーザ コンフィギュレーション モードを開始します。 |

| | コマンドまたはアクション | 目的 |
|--------|--|---|
| ステップ 5 | <code>exit</code> | グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。 |
| ステップ 6 | <pre>Router# test aaa group {group-name radius} username password new-code [profile profile-name]</pre> <p>例： Router# test aaa group radius secret new-code profile profilename1</p> | <p>DNIS または CLID の名前付きユーザプロファイルを、RADIUS サーバに送信するレコードに関連付けます。</p> <p>(注) <code>profile-name</code> は、<code>aaa user profile</code> コマンドで指定する <code>profile-name</code> に一致する必要があります。</p> |

拡張テスト コマンドの設定の確認

拡張テスト コマンドの設定を確認するには、特権 EXEC モードで次のコマンドを使用します。

| コマンド | 目的 |
|---|---|
| Router# <code>debug radius</code> | RADIUS 関連の情報を表示します。 |
| Router# <code>more system:running-config</code> | 現在実行されているコンフィギュレーション ファイルの内容を表示します (<code>show running-config</code> コマンドが <code>more system:running-config</code> に置き換えられていることに注意してください)。 |

拡張テスト コマンドの設定例

ここでは、次の設定例について説明します。

- 「[test aaa group コマンドに関連付けるユーザ プロファイルの例](#)」(P.3)

test aaa group コマンドに関連付けるユーザ プロファイルの例

次に、`dnis = dnisvalue` ユーザ プロファイル「prfl1」を設定し、`test aaa group` コマンドを使用して関連付ける例を示します。この例で、`debug radius` コマンドがイネーブルにされ、設定の後に出力が続いています。

```
aaa user profile prfl1
  aaa attribute dnis
  aaa attribute dnis dnisvalue
  no aaa attribute clid
! Attribute not found.
  aaa attribute clid clidvalue
  no aaa attribute clid
  exit
!
! Associate the dnis user profile with the test aaa group command.
test aaa group radius user1 pass new-code profile prfl1
!
!
!
! debug radius output, which shows that the dnis value has been passed to the radius
! server.
*Dec 31 16:35:48: RADIUS: Sending packet for Unique id = 0
```

```

*Dec 31 16:35:48: RADIUS: Initial Transmit unknown id 8 172.22.71.21:1645,
Access-Request, len 68
*Dec 31 16:35:48: RADIUS: code=Access-Request id=08 len=0068
  authenticator=1E CA 13 F2 E2 81 57 4C - 02 EA AF 9D 30 D9 97 90
  T=User-Password[2]                               L=12 V=*
  T=User-Name[1]                                    L=07 V="test"
  T=Called-Station-Id[30]                           I=0B V="dnisvalue"
  T=Service-Type[6]                                 L=06 V=Login [1]
  T=NAS-IP-Address[4]                               L=06 V=10.0.1.81

*Dec 31 16:35:48: RADIUS: Received from id 8 172.22.71.21:1645, Access-Accept, len 38
*Dec 31 16:35:48: RADIUS: code=Access-Accept id=08 len=0038

```

その他の参考資料

ここでは、拡張テスト コマンドに関する関連資料について説明します。

関連資料

| 内容 | 参照先 |
|-------------|--|
| セキュリティ コマンド | 『Cisco IOS Security Command Reference』 |

規格

| 規格 | タイトル |
|----|------|
| なし | — |

MIB

| MIB | MIB リンク |
|-----|--|
| なし | 選択したプラットフォーム、Cisco IOS リリース、および機能セットの MIB を検索してダウンロードする場合は、次の URL にある Cisco MIB Locator を使用します。 http://www.cisco.com/go/mibs |

RFC

| RFC | タイトル |
|-----|------|
| なし | — |

シスコのテクニカル サポート

| 説明 | リンク |
|--|--|
| <p>右の URL にアクセスして、シスコのテクニカル サポートを最大限に活用してください。</p> <p>以下を含むさまざまな作業にこの Web サイトが役立ちます。</p> <ul style="list-style-type: none">・テクニカル サポートを受ける・ソフトウェアをダウンロードする・セキュリティの脆弱性を報告する、またはシスコ製品のセキュリティ問題に対する支援を受ける・ツールおよびリソースへアクセスする<ul style="list-style-type: none">- Product Alert の受信登録- Field Notice の受信登録- Bug Toolkit を使用した既知の問題の検索・Networking Professionals (NetPro) コミュニティで、技術関連のディスカッションに参加する・トレーニング リソースへアクセスする・TAC Case Collection ツールを使用して、ハードウェアや設定、パフォーマンスに関する一般的な問題をインタラクティブに特定および解決する <p>この Web サイト上のツールにアクセスする際は、Cisco.com のログイン ID およびパスワードが必要です。</p> | <p>http://www.cisco.com/techsupport</p> |

拡張テスト コマンドの機能情報

表 1 に、この機能のリリース履歴を示します。

ご使用の Cisco IOS ソフトウェア リリースによっては、コマンドの中に一部使用できないものがあります。特定のコマンドに関するリリース情報については、コマンドリファレンスマニュアルを参照してください。

Cisco Feature Navigator を使用すると、プラットフォームおよびソフトウェア イメージのサポート情報を検索できます。Cisco Feature Navigator を使用すると、特定のソフトウェア リリース、機能セット、またはプラットフォームをサポートする Cisco IOS ソフトウェア イメージおよび Catalyst OS ソフトウェア イメージを確認できます。Cisco Feature Navigator には、<http://tools.cisco.com/ITDIT/CFN/jsp/index.jsp> からアクセスできます。Cisco.com のアカウントは必要ありません。



(注) 表 1 には、一連の Cisco IOS ソフトウェア リリースのうち、特定の機能が初めて導入された Cisco IOS ソフトウェア リリースだけが記載されています。特に明記していないかぎり、その機能は、一連の Cisco IOS ソフトウェア リリースの以降のリリースでもサポートされます。

表 1 拡張テストコマンドの機能情報

| 機能名 | リリース | 機能情報 |
|------------|---------------------------------------|--|
| 拡張テスト コマンド | 12.2(4)T 12.2(28)SB 12.2(33)SRC | <p>拡張テスト コマンド機能を使用すると、Calling Line ID (CLID; 発呼回線 ID) または Dialed Number Identification Service (DNIS; 着信番号識別サービス) アトリビュート値を持つ名前付きユーザ プロファイルを作成できます。RADIUS サーバがすべての着信コールの CLID または DNIS アトリビュート情報にアクセスできるように、CLID または DNIS アトリビュート値を、ユーザ プロファイルとともに送信される RADIUS レコードに関連付けることができます。</p> <p>この機能は、Cisco IOS Release 12.2(4)T で導入されました。</p> <p>この機能は、Cisco IOS Release 12.2(28)SB に統合されました。</p> <p>この機能は、Cisco IOS Release 12.2(33)SRC に統合されました。</p> <p>この機能により、次のコマンドが導入または変更されました。aaa attribute、aaa user profile、test aaa group</p> |

用語集

CLID : 発呼回線 ID。CLID は、コールの発信元の番号を示します。

DNIS : 着信番号識別サービス。DNIS は、ダイヤル先の番号を示します。

アトリビュート : RADIUS Internet Engineering Task Force (IETF; インターネット技術特別調査委員会) アトリビュートは、255 の標準アトリビュートで構成されるオリジナルのセットで、クライアントとサーバ間での AAA 情報の伝達に使用されます。IETF アトリビュートは標準であるため、アトリビュートデータは事前定義されてその内容も認識されています。このため、IETF アトリビュートを介して AAA 情報を交換するすべてのクライアントとサーバは、アトリビュートの厳密な意味や各アトリビュート値の一般的な限界など、アトリビュートデータに一致させる必要があります。

Cisco and the Cisco Logo are trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the U.S. and other countries. A listing of Cisco's trademarks can be found at www.cisco.com/go/trademarks. Third party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1005R)

このマニュアルで使用している IP アドレスおよび電話番号は、実際のアドレスおよび電話番号を示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、ネットワークボロジ図、およびその他の図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスおよび電話番号が使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2001, 2006–2007 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2001–2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.

